



■■ 令和元年 10 月 20 日 (日) ■■

～女性部が東区音頭を披露。健康スポーツまつり～



東区健康スポーツまつりが、札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」で開催されました。

会場では、つどーむ近隣を歩くウォーキング&ミニ講座やラジオ体操講習会、かねあいよかミニライブのほか、チアダンス、健康塾やパン食い競争など多彩なプログラムが目白押し。参加された皆さんは思い思いに各コーナーに立ち寄って健康にかかわる催しを楽しんでいました。

特に東区青少年育成委員会が運営するパン食い競争はいつも大人気であったという間に大人、子ども合計 490 名の参加券がなくなり、口でパンをくわえるユーモラスな姿が笑いを誘っていました。また、イベントのクライマックスは東区音頭です。栄東連合町内会女性部は 11 名が参加し、他 9 地区の女性部とともに大きな輪になって熟練した踊りを披露していました。

最後は豪華景品(?)が当たるお楽しみ抽選で、当選番号を読み上げるたびにどよめきが起きていました。閉会式終了後には、800 名限定ですが玉ねぎがプレゼントされ、大盛況にイベントを終了しました。

■■ 令和元年 10 月 23 日 (水) ■■

～栄東に拍子木が響く。防火街頭キャンペーン～

秋の火災予防運動(10月15日～10月31)の期間中の10月23日(水)に栄東地区で街頭防火キャンペーンを実施しました。

ザ・ビッグエクスプレス栄町店に地区の防火委員や町内会役員、ひのまる少年消防クラブ員など約 40 名が集合。火の用心の旗を先頭に拍子木(ひょうしぎ)を打ち鳴らし、同店周辺をパレードしました。その後、同店の出入口付近で買い物客や道行く市民に啓発ティッシュを配布しながら火災予防を呼びかけました。



同運動の重点項目は、「住宅における火災予防の推進」「放火防止に向けた環境づくり」「災害時の助け合い」の3つです。これからの季節はストーブなどの暖房器具による火災の多発が懸念されます。器具の点検やストーブ周囲の整理整頓に努めましょう。また、放火されることのないよう、ごみ出しのルールを守るとともに、家の周りの整理整頓に努めることも重要です。そして、日ごろから地域の絆を大切にすることで、いざというときに助け合い、「火災のない安全安心なまち、笑顔あふれるまち」にしましょう。

■■ 令和元年10月24日(木) ■■

～黄色のイチョウ並木に感動。北大で健康ウォーク～

10月24日、栄東連合町内会女性部主催の健康ウォークが開催されました。今回は、北海道大学のイチョウ並木です。

午前9時に日の丸会館を出発し、地下鉄栄町駅から北13条東駅に向かい、同駅を出て西に進むとすぐ北海道大学です。参加した地区の方々は39名で、黄色に染まった約380メートルにわたるイチョウ並木に「とてもきれい!」と感動していました。

昼食は大学の学生食堂です。若い学生に交じって元気をいただきながらカフェテリア方式の昼食を味わいました。これも女性部の健康ウォークならではの体験です。

次回は、令和2年2月17日に東老人福祉センターで健康講座を開催します。お申し込みは不要ですので、当日、午前10時に日の丸会館前にお集まりください。



■■ 令和元年11月19日(火) ■■

～仮想体験で事故防止を学習。高齢者交通安全教室～

栄東連合町内会では、はじめての試みとして仮想体験で交通安全について学ぶ高齢者向けの教室を札幌方面東警察署と日本自動車連盟の協力で開催しました。

最近、高齢者による悲惨な交通事故の報道が相次いでいます。高齢に伴う運動能力の衰えを自覚し、意識して弱点をカバーして安全につなげようと実施したものです。

冒頭、東警察署の小野寺一允(あおのぞらかずのぶ)交通一課長の「高齢者による交通事故を防ぐために」というワンポイントのアドバイスの後、メイン企画の仮想体験を行いました。

まず、道内にひとつしかないという日本自動車連盟のドライバーズビジョン(動体視力測定装置)を使って運転能力をAからEまでの5段階で判定し、例えば「あなたは反応速度が遅いので、十分車間距離をとって運転しましょう」とアドバイスをうけました。堅苦しい講義とは異なり、参加者の判定に一喜一憂しながら楽しく体験を進めていました。

また、自転車シミュレーションを活用した安全走行体験を同時に行い、走行時にヒヤリとする場面もリアルに体験することで歩道や車道など場面に応じた走行ルール、気をつけなければならないポイントを学びました。

この日会場に集まった参加者は、高齢者を主に35名。参加者のお一人は、「はじめての体験で自分の弱点を自覚できたので、さらに慎重な運転を心がけます」と話されていました。

